

小学校第1学年 鑑賞の活動

【学習の方向性】	○活動したことや表現したものの面白さや楽しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。【B鑑賞(1)ア】〔共通事項〕			
【題材名】	<h2 style="margin: 0;">すきまちゃんのすきなすきま</h2> <p style="margin: 0;">～すきまちゃんの気持ちになって、すきまちゃんのすきなすきまを見つけよう～</p>			
【題材目標】	<p>○すきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付けるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付くようにする。</p> <p>○いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、身の回りの隙間の造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げるようにする。</p> <p>○つくりだす喜びを味わい、楽しくすきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付ける学習活動に取り組むようにする。</p>			
【題材の評価規準】				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
すきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付けるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。	いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、身の回りの隙間の造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	楽しんで表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。		
	活動 具体化した評価の例 【評価方法】	知・技	思・判・表	主体的
1	○すきまちゃんとお出あう。 ○身の回りの場所に関わり、すきまを探し、すきまちゃんと写真を撮る。 知 すきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付けるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。 【観察・写真記録】	↓	↓	↓
2	○いろいろなすきまの面白さや楽しさに気づき、すきま探しをさらに楽しむ。 ○撮影した写真を見ながら、活動したことをお互いに見合う。 思・判・表 いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、身の回りの隙間の造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 【観察・写真記録】 主体的 楽しんで表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとしている 【観察・写真記録】	↓	↓	↓

ポイント

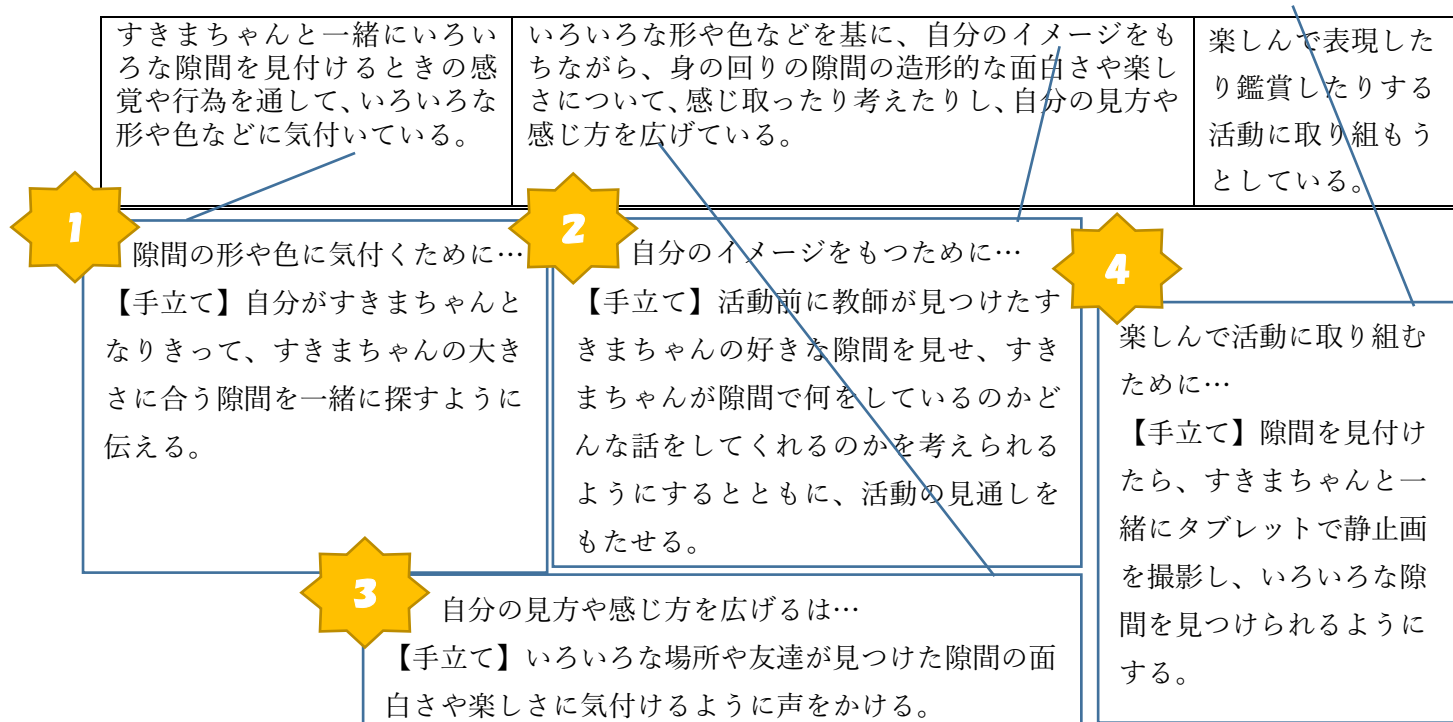
① 題材目標 — 評価規準 — 具体化した評価

● 題材目標をもとに評価規準を設定する。

● どの資質・能力をどの場面で評価をするか考え、具体化した評価規準を設定する。

- ・ 1次の前半は材と場所と触れ合うことから隙間の「形や色などに気付く」の知識を中心に評価する。
- ・ 1次の後半は、「自分のイメージをもちながら、身の回りの隙間の造形的な面白さや楽しさについて」の思考・判断・表現（〔共通事項〕や発想や構想に関わる資質・能力）を中心に評価する。
- ・ 2次の前半は、より考えながら活動を広げていくことから、これまで見つけた隙間や友達が見つけた隙間から「自分の見方や感じ方を広げる」の思考・判断・表現を中心に評価する。
- ・ 2次の前半から後半にかけて、粘り強く活動に取り組む様子を見取り、主体的に学習に取り組む態度を評価する。

② 資質・能力を育てるための手立て



③ 子どもの姿から評価をするとは

● 活動の中で育つ資質・能力を見とりたい

子どもたちの会話や教師との対話、お互いに見合う場面での発表など。

教師との対話の時間を確保するために・・・活動中の形成的評価（観察、対話、写真）

※絵や立体・・・「作品から評価」△ 「作品から子どもの活動を想起する」○

※造形遊び・・・活動が次々流れていくため、写真や映像の記録が有効